

乾燥（冬期）についての技術対策

露地野菜

【事前対策】

- ・寒干害は比較的長期の低温・乾燥によって起こる。
- ・作付けに際し、日照、風向き等を考慮して寒干害を回避できる適期および適地を選定する。
- ・深耕、有機物の施用等により、保水性の高い土作りを行い、根張りのよいほ場にする。
- ・冬期の季節風が卓越するほ場で栽培する場合は、防風施設等により風を和らげ、過剰な蒸発、蒸散を防ぐ。
- ・早まき、早植えを極力避け、健苗の育成に努める。
- ・マルチフィルムにより、土壤水分と地温を確保する。
- ・不織布のべたがけ等により、蒸散過多を抑える。
- ・土壤の乾燥により肥料成分の吸収が低下する場合は、生育遅れや萎凋、葉枯れ、アントシアン等が発生するので、その前に液肥の葉面散布を行う。
- ・冬期に灌水する場合はなるべく暖かい日の午前中に行う。
- ・干ばつ時には、追肥時の中耕や後作のための耕耘、深耕は控える。

【事後対策】

- ・葉枯れ等被害部から病害を発生させないよう薬剤散布を行う。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。